

承認番号：RD6309-010-1

文書番号：16065871

平成 28 年 6 月 8 日

TT 工法用接着剤
パネルボンド MK-720 試験成績書

株式会社タイルメント
技術開発センター

1. 目的
TT 工法用接着剤「パネルボンド MK-720」の接着性能試験を行なう。
2. 試験項目
単軸引張試験（JIS A 5538「壁・天井ボード用接着剤」に準ずる）
3. 供試材料
被着材：珪酸カルシウム板、メラミン化粧板（40×40mm）
下地材：合板、石こうボード
4. 試験方法
 - (1) 試験体の作製
標準状態（ $23\pm 2^{\circ}\text{C}$ 、 $50\pm 10\%\text{RH}$ ）において、被着材にヘラを用いて接着剤を塗布し、スペーサー（1mm）を入れる。被着材を下地材に張付け、指圧にて圧縮し試験体とした。（図1）
 - (2) 養生条件
標準条件：標準状態（ $23\pm 2^{\circ}\text{C}$ 、 $50\pm 10\%\text{RH}$ ）で168時間
第一種特殊条件
低温状態：低温状態（ $5\pm 1^{\circ}\text{C}$ ）で168時間
高温状態：標準状態（ $23\pm 2^{\circ}\text{C}$ 、 $50\pm 10\%\text{RH}$ ）で168時間後、 $50\pm 2^{\circ}\text{C}$ で24時間
水中浸せき：標準状態（ $23\pm 2^{\circ}\text{C}$ 、 $50\pm 10\%\text{RH}$ ）で168時間後、 $23\pm 2^{\circ}\text{C}$ 水中で24時間
（石こうボードは水中浸せきを除く）
 - (3) 測定条件
テンシロン万能材料試験機 UTM-2410 により、変位速度 3mm/min にて測定を行なった。

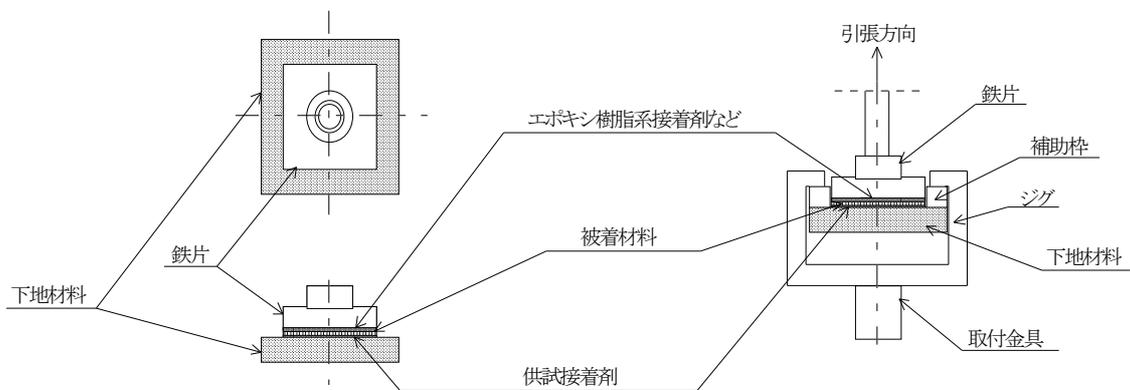


図 1

図 2

5. 試験結果

・合板下地

		珪酸カルシウム板		メラミン化粧板		評価基準	
		接着強度	破断の位置	接着強度	破断の位置		
		N/mm ²	%	N/mm ²	%		
標準条件 (23°C168時間)	1	0.82	B10G90	0.94	BA100	0.5N/mm ² 以上	
	2	0.85	A30G70	1.15	BA80A20		
	3	0.54	B100	0.96	BA60A40		
	ave.	0.74		1.02			
第一種特殊条件	低温条件 (5°C168時間)	1	0.80	B100	1.10	B100	0.5N/mm ² 以上
		2	0.84	B100	0.86	B20A80	
		3	0.83	B100	0.76	B30A70	
		ave.	0.82		0.91		
	高温条件 (23°C168時間+ 50°C24時間)	1	0.82	B100	0.96	G100	0.5N/mm ² 以上
		2	0.78	B100	1.01	G100	
		3	0.87	B100	0.99	A20G80	
		ave.	0.82		0.99		
	耐水 (23°C168時間+耐 水24時間)	1	0.61	B100	0.76	BA60A40	0.5N/mm ² 以上
		2	0.56	B100	0.99	BA100	
		3	0.52	B100	0.67	BA100	
		ave.	0.56		0.81		

・石膏ボード下地

		珪酸カルシウム板		メラミン化粧板		評価基準	
		接着強度	破断の位置	接着強度	破断の位置		
		N/mm ²	%	N/mm ²	%		
標準条件 (23°C168時間)	1	0.20	G100	0.31	G100	0.2N/mm ² 以上	
	2	0.33	G100	0.25	G100		
	3	0.26	G100	0.22	G100		
	ave.	0.26		0.26			
第一種特殊条件	低温条件 (5°C168時間)	1	0.23	G100	0.21	G100	0.2N/mm ² 以上
		2	0.26	G100	0.35	G100	
		3	0.24	G100	0.24	G100	
		ave.	0.24		0.27		
	高温条件 (23°C168時間+ 50°C24時間)	1	0.21	G100	0.21	G100	0.2N/mm ² 以上
		2	0.23	G100	0.23	G100	
		3	0.27	G100	0.35	G100	
		ave.	0.24		0.26		

破壊状態

B：仕上げ材の材料破壊、BA：仕上げ材と被着材の界面破壊

A：接着剤の凝集破壊、G：下地材の材料破壊

●本試験成績書の記載内容は、当社の試験データを基に作成し、十分信頼し得るものと確信しておりますが保証値ではございません。現場施工においては施工箇所環境・使用材料・施工条件などが異なりますので、確実な施工を行なう為にも施工前に用途・条件などをご自身で十分ご検討下さい。